

実行委員ニュース①（2020 年 10 月 7 日掲載）

「明」という字は、太陽を表す「日」と温かい「月」の光を表すものだと思っていました。

実は、「明」の語源は、一窓から見える月明かりー

入院中のベッドで、眠れない夜に眺めていた月明かりにどれほど癒されたことでしょう。

夜勤の時、「眠れない」という患者さんたちと月明かりのなかで、遅くまでお話ししたことも思い出されます。

このポスターは、絵本作家で漫画家の内田かずひろ先生に書いていただきました。

<内田 かずひろ先生>

1989 年第 11 回クレヨンハウス絵本大賞優秀作品賞受賞

朝日新聞その他で連載された「ロダンのココロ」の作者として有名ですが、じつは看護の世界にもかかわりのある方です。

日本看護協会出版会の「患者さんを全人的に捉える 24 の家族物語」においては、安部譲二さんや内田春菊さんと並んで、執筆されています。

今回は、腎不全と共に生きる患者さんや、患者さんに寄り添う看護師や看護学生を月明かりに映し出されるナイチンゲールとともにえがいてくださいました。

